

平成 24 年 10 月分 検査結果の概要

簡略な説明のため、必要に応じ個表を参考にしてください。

放流水等水質調査結果（（1）表）

最終排水口での測定結果。

| 代表項目 | 項目の説明 | 処理目標値 | 測定値 | コメント |
|------------------|--|------------------|------------------|------------------------|
| 塩化物イオン (mg/l) | 活着期 500～700 以上、分けつ期 700～1000 以上になると、稲作に障害があるといわれている。 | 500 (4～8 月限定) | 160～940 | 通常の運転をしています。問題のない値でした。 |
| BOD (mg/l) | 数値が高いほど有機物などの汚染が進んでいる。 | 20 | 0.6～2.6 | 問題のない値でした。 |
| SS (mg/l) | 数値が高いほど、濁りが多い。 | 20 | 1 未満～5 | 問題のない値でした。 |
| 有害物質等 (mg/l) | 有害金属のカドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀について調査しました。 | 細目協定に掲げるそれぞれの値 | 定量下限値未満の異常のない数値。 | 問題のない値でした。 |

地下水（シート下）と、2本の井戸水のモニタリング自動測定結果

| 代表項目 | 項目の説明 | 環境基準値 | 測定値 | コメント |
|---------------|---|-------|---------|--------------------|
| pH | 7.0 が中性、それより高いとアルカリ性、低いと酸性を示す。 | | 6.0～6.8 | 従来と変わりなく、問題のない値でした |
| EC (mS/cm) | 溶けているイオンの種類により差異はあるが、イオンの濃度が高いほど数値が大きい。 | | 0.3～1.0 | 従来と変わりなく、問題のない値でした |

公共用水域水質調査結果（（2）表）

エコパーク下流の、古志茂橋（中田川）で採水したものです。また古志茂橋の上流で合流している生活排水の影響を調べる為、その排水口とそのすぐ上流、及び下流から採水しました。

| 代表項目 | 項目の説明 | 環境基準値 | 測定値 | コメント |
|------------------|--|-------|-----------------------|--|
| SS (mg/l) | 数値が高いほど、濁りが多い。 | 50 | 43 | 問題のない値でした。 |
| 塩化物イオン (mg/l) | 活着期 500～700 以上、分けつ期 700～1000 以上になると、稲作に障害があるといわれている。 | | 28～36 生活排水 34 | 問題のない値でした。また生活排水も低い値でした。 |
| BOD (mg/l) | 数値が高いほど有機物などの汚染が進んでいる。 | 5 | 1.2 生活排水 2.1 | 環境基準の範囲内で、問題のない値でした。生活排水も問題のない値でした。 |
| 全窒素 (mg/l) | 水中の有機物が分解される過程でいろいろな形態の窒素化合物が生成されるが、その窒素の総量。 | | 0.68～0.69 生活排水 2.5 | 問題のない値でした。生活排水も問題のない値でした。環境基準はありません。なお同時に測定した硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素も環境基準の範囲内で問題のない値でした。 |

今回の測定で、生活排水の影響は見られませんでした。

放射性物質・放射線量率測定結果((3)表)

浸出水処理施設からの放流水中の放射性物質濃度と、エコパークの敷地境界 4 箇所で空間放射線量率を測定しました。

- ・放流水中からは 放射性物質 ヨウ素-131、セシウム-134、同-137 は「検出されない」でした
- ・敷地境界(地表より 1mの高さ)の空間放射線量率は、0.05~0.06 マイクロシーベルト/h(平均 0.06) で問題のない値でした。

地下水水質調査結果((4)表)

3ヶ月毎に、シート地下水集水桝と4本のモニタリング井戸の、合わせて5箇所から採水して総合評価しています。

| 代表項目 | 項目の説明 | 環境基準値 | 測定値 | コメント |
|------------------|---|----------------|---|-----------------------|
| 塩化物イオン (mg/l) | 水位により多少の変化はあるが、大きく変わることはない。 塩分濃度の指標となる。 | | 20~33 | 従来とほぼ変わりなく、問題のない値でした。 |
| SS (mg/l) | 数値が高いほど、濁りが多い。 | | 1未満~14 | 従来と変わりなく、問題のない値でした。 |
| 全窒素 (mg/l) | 有機物を含んだ地層に水が浸透し、色々の形態の窒素化合物が地下水に溶け出してきたもの。 | | 0.3~5.3 | 従来とほぼ変わりなく、問題のない値でした。 |
| 有害物質等 (mg/l) | 法で定められている全ての有害物質等(砒素などの重金属類、PCBなどの有機塩素化合物、シマジンなどの残留農薬など38項目)について測定した。 | 環境基準に定めるそれぞれの値 | 定量下限値未満もしくは異常のない値でした。基準の無いものも特に異常を示すものではありませんでした。 | 問題のない値でした。 |

埋立量年次推移(平成11年~23年は測量実績値)

| | 単年度(m3) | 累計(m3) | 残容量(m3) |
|---------------|---------|-----------|-----------|
| 平成11年度 | 76,464 | 76,464 | 1,407,536 |
| 平成12年度 | 117,876 | 194,340 | 1,289,660 |
| 平成13年度 | 154,102 | 348,442 | 1,135,558 |
| 平成14年度 | 84,916 | 433,358 | 1,050,642 |
| 平成15年度 | 106,886 | 540,244 | 943,756 |
| 平成16年度 | 97,026 | 637,270 | 846,730 |
| 平成17年度 | 92,195 | 729,465 | 754,535 |
| 平成18年度 | 92,244 | 821,709 | 662,291 |
| 平成19年度 | 94,214 | 915,923 | 568,077 |
| 平成20年度 | 55,787 | 971,710 | 512,290 |
| 平成21年度 | 49,420 | 1,021,130 | 462,870 |
| 平成22年度 | 62,311 | 1,083,441 | 400,559 |
| 平成23年度 | 95,044 | 1,178,485 | 305,515 |
| 平成24年度(4~10月) | 41,977 | 1,220,462 | 263,538 |